ボーリング柱状図

調　査　名　一般国道375号（引宇根工区）道路改良事業に伴う設計業務委託（交付金）

事業・工事名

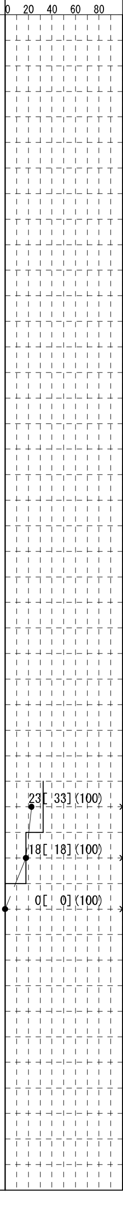
ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	2	0	0	3

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	一般国道375号（引宇根工区）道路改良事業に伴う設計業務委託（交付金）	北　緯	34° 48’ 26.3974″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成29年 2月 1日～平成29年 2月 7日	東　経	132° 46’ 54.2845″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	172.61m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	18.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 24°		

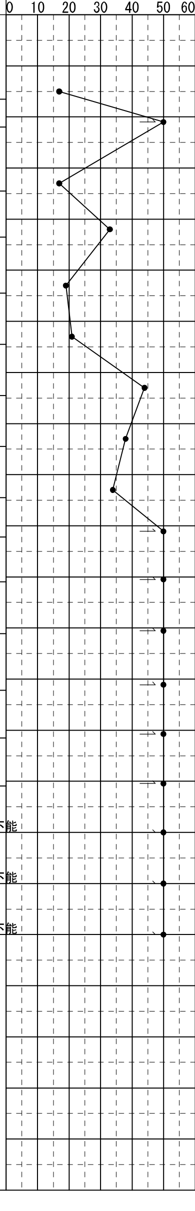
使用機種			
試錐機	YBM-05D	ハンマー落下用具	半自動型
エンジン	ヤンマーNFD-7	ポンプ	PA-120

標高 m	深度 m	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	最大コア長 cm [RQD %] (コア採取率 %)	岩級区分
172.31	0.30	表土	暗褐						草根を多く含む表土		
157.61	15.00	玉石混じり砂礫	黄褐						砂と礫主体。礫は流紋岩類主体，ごくわずかに安山岩類と花崗岩類を含む。コア長10～50cmの流紋岩類礫を含む。 GL-0.45～0.70m間，空洞 GL-0.95m付近の玉石間シルト分多い。わずかに草根を含む。 2m貫入試験　玉石あたり GL-0.30～2.70間 コア長30cmを超える玉石を含み，玉石と砂礫の比はほぼ1:1である。 GL-2.70～9.60m間 コア長20cmを超える玉石はほとんどなく砂礫が主体である（玉石は1.5割程度）。 GL-9.60～15.00m間 コア長20cmを超える玉石がほとんどである。玉石と砂礫の比はほぼ1:1である。 10m貫入試験　玉石あたり 11m貫入試験　玉石あたり 12m貫入試験　玉石あたり 13m貫入試験　玉石あたり 最大玉石はコア長49cm（GL-13.42～13.91cm）。 14m貫入試験　玉石あたり		
154.61	18.00	流紋岩	茶褐	C / B	Ⅳ / Ⅲ / Ⅳ	c / b / c	δ / γ	1	GL-15.00以深岩盤。GL-15.00～15.10mの岩級区分はDH級相当。GL-16.70m以深の縦亀裂に沿って2cm程度破砕し，粘土化が進行している。長石はピンク色主体。	23[33](100) 18[18](100) 0[0](100)	D / CL



孔内水位／測定月日: 2/1 1.20　2/8 2.37　2/6 7.36

深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm
1.35～1.65	17/30
2.00～2.20	50/20
3.15～3.45	17/30
4.05～4.35	33/30
5.15～5.45	19/30
6.15～6.45	21/30
7.15～7.45	44/30
8.15～8.45	38/30
9.15～9.45	34/30
10.00～10.22	50/22
11.00～11.10	50/10
12.00～12.11	50/11
13.00～13.22	50/22
14.00～14.15	50/15
15.00～15.09	50/9
16.00	貫入不能
17.00	貫入不能
18.00	貫入不能



掘進状況

掘進月日: 2/1, 2/2, 2/3, 2/4, 2/6, 2/7

掘進速度 cm/時: 135, 185, 117, 60, 128, 115, 140, 176, 162, 158, 118, 98, 103, 115, 176, 136, 128, 143

孔径／孔壁保護: 66／ケーシング（～15.00m），66（15.00～18.00m）

コアチューブ／ビット: W／DDB

給圧 MPa: 250　回転数 rpm: 60

送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1	清水/7	6
1	清水/7	7
1	清水/7	0
1	清水/7	7
1	清水/7	4
0	清水/7	0
1	清水/7	7
1	清水/7	7
1	清水/7	4